

A CLIENT BRIEFING · THE COACHING ARCHITECTURE

LEAD.

The Framework — five movements for the technology leader.

技術リーダーの意思決定と変容を支える、5つの動き。

Listen · Explore · Align · Decide · Transform

Kenji Saito
FOUNDER, ARC FRONTIER

02 — INTRODUCTION

正解が一つとは限らない現場のための、 コーチング・アーキテクチャ。

LEAD Frameworkは、テクノロジー・R&D領域のリーダーが、複雑な意思決定と人の成長を同時に扱うためのコーチング・アーキテクチャです。

技術の現場では、正解が一つとは限りません。市場、資本、組織能力、研究テーマの不確実性、そしてリーダー自身の価値観が絡み合います。LEADは、その絡み合った状況を丁寧にほどこき、見えない前提を可視化し、リーダーが自らの言葉で進む方向を決めるためのプロセスです。

WHAT THIS FRAMEWORK *is not*.

答えを外から与えるための手順ではありません。

WHAT IT *is*.

リーダーの中にすでにある経験、直感、倫理観、戦略性を引き出し、経営の現実の中で使える形へと磨いていく対話の構造。

03 — OVERVIEW · THE ARCHITECTURE

4つの動きと、 その先にある変容。

THE MOVEMENTS

- L Listen — 深く聴く
- E Explore — 探究する
- A Align — 揃える
- D Decide — 決める

4つの動きの積み重ねが、Transform（変容）を生み出す。





L.

Listen — 深く聴く。

その動き

最初に行うのは、問題を急いで解決することではなく、深く聴くこと。

言葉として語られる課題だけでなく、その背後にある違和感、葛藤、責任、恐れ、未整理の思考に耳を澄ませます。

技術的な論点、組織上の制約、ステークホルダーの期待、そしてリーダー本人の内面。そのすべてを一つのシステムとして捉え、ノイズの奥にある本質的なシグナルを見つけていきます。



05 — MOVEMENT II

E.

Explore
— 探究する。

THE QUESTIONS WE ASK

- 「本当にそうなのか」
- 「他に選択肢はないのか」
- 「何を恐れているのか」
- 「何を守ろうとしているのか」

その動き

現状の前提を、問い直す。

問いを通じて、思考の枠を広げ、可能性の空間を拡張します。

ここでは、短期的な解決策だけでなく、長期的にリーダーと組織を強くする選択肢を探ります。

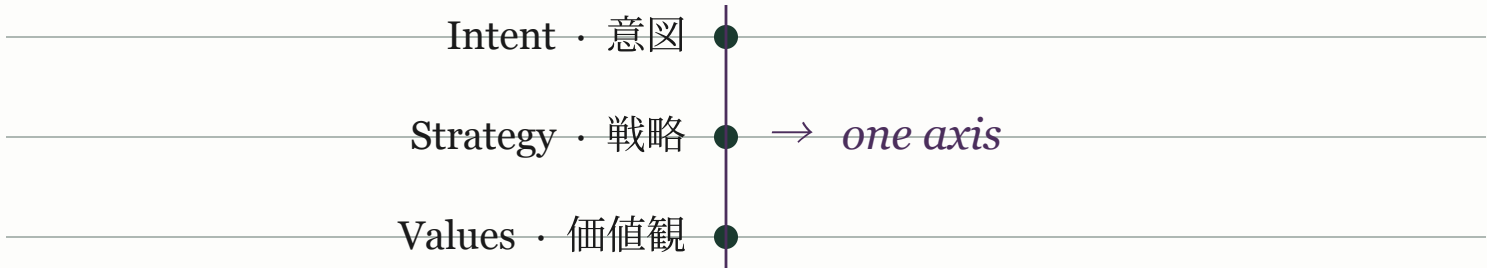
技術、事業、人、組織文化の関係を見直すことで、表面的な課題の下にある構造が見えてきます。



Align

— 揃える。

THREE AXES, ONE LINE



その動き

探究で見えたものを、
意図・戦略・価値観と照らし合わせる。

リーダーが本当に実現したいことは何か。組織の方向性と個人の信念はどこで一致し、どこでずれているのか。経営判断、チームへのメッセージ、顧客や市場への約束が一貫しているかを確認します。

Alignは、単なる合意形成ではありません。リーダー自身の内側と、組織の外側に向けた行動を一本の軸で結び直すプロセスです。



D.

Decide

— 決める。

WHAT A DECISION PRODUCES

- i. 責任 — *to own the choice.*
- ii. 言葉 — *to speak it.*
- iii. 行動 — *to act on it.*

その動き

十分に聴き、探究し、整えたうえで、
最後に決める。

決めるとは、選択肢を一つに絞ることだけではありません。その選択に責任を持ち、言葉にし、行動に移すことです。

曖昧さの中でも前に進むために、判断基準を明確にし、関係者に伝わるメッセージへと落とし込みます。

ここで生まれるのは、単なる結論ではなく、リーダーとしての確信と実行へのコミットメントです。

Transform.

— 変容する。

WHAT TRANSFORMS

LEADの目的は、一つの課題を解決することにとどまりません。対話を重ねることで、リーダーの見方、問い方、決め方、伝え方そのものが変わっていきます。

技術者としての精密さに、経営者としての視座と、人を育てる器が加わる。結果として、リーダーは以前とは異なる形で組織に影響を与え始めます。

THE QUIET PRACTICE

複雑な時代において、自分自身の判断軸を失わず、組織を前に進めるための静かな実践。

深く聴き、広く探究し、内外を整え、明確に決める。
その積み重ねが、持続的な変容を生み出します。